

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	KOKO奏		公表日 2026年 2月 13日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	利用定員が5名なので適切と考えます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	2	主に看護師が不足しており、それを派遣さんで補って対応している状況です。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2	毎日利用終了後の清掃や消毒を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	2	個室が1つしかないため（静養室）、パーテーションで簡易的な個室を作っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	3	インシデントの振り返りから業務改善を行ったり、施設内の整理を行っている。	目標を設定し、業務改善を行っていない状況である。今後、会社の理念と必要な業務改善を考え、目標を設定し、職員で共有して進める必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	保護者向け評価のアンケートを実施している。その結果を基に改善することを検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	ミーティングを行い、話し合いを行ってどのようにしていくかを決めて業務改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	5		第三者による外部評価を行っていないため、今後実施するのかを考えていく必要がある。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	研修を受講する機会があり、ジョブメドレーアカデミーの動画研修を職員は受講することができる環境がある。	職員の教育に何が必要かといった部分を決めていく必要がある。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	今年度は、ホームページをリニューアルし、見やすくなっている。そして、ホームページや事業所玄関のファイルでプログラムが公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	1	5領域のアセスメントシートを活用した評価や正常発達の年齢と今必要な事、家族のニーズ等から計画書を作成している。	計画書作成にあたり、評価する項目など観察評価中心になっているため、作成者の主観の影響がやすい。そのため用紙を作成するなどの改善が必要と考えられる。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	ミーティングを行い、話し合いを行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	計画書の内容を共有するためにミーティングや連絡ノートによる伝達を行って、職員が計画書を読むように促している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	5領域のアセスメントを活用し、観察のポイントなど確認しながら行っている。また、日々の体調を観察し、何らかの変化があったときに気づけるようにしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	2	ガイドラインに沿って作成されていると考える。	

の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	2	2人体制でその日ごとに活動を決めて行っている。また、季節を感じる事ができる活動を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	同じ活動を一週間内で繰り返さないようなるべく工夫している。毎回同じような活動になってしまっている。	前日の情報を共有できるようにする。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	6		支援開始と終了の話し合いができてない。改善するため、朝の送迎開始時間前に前日の前日の報告と当日の支援内容について話し合う時間を作る。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	7		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	2	支援を行った後の個別記録残し、モニタリング時に見返し、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	支援を行った後の個別記録残し、成長発達や状況にあわせて計画書の修正を行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	参加するスタッフは、児童について理解している者であり、支援の中で関わっているものが参加している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3	〇〇小児クリニックと連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	4		対象児童が今はいないが、今後就学前となった児童がいるとき、担当者会議や相談員を通して情報を共有していきたい。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	5	療育センター等、必要があれば、リハビリの様子や状況の情報を聞いたり、見学など行うことができる。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	送迎時、情報交換を行っている。送迎時、ご家族と話す機会があるため、そのときに情報共有している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6	家族が参加できる研修のチラシを配布するなど行っている。	ご家族がどのような情報を求めているのかわからない状況である。現在は広島市等からご家族が参加できる研修等のチラシを配布している。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	契約時に丁寧に説明を行っている。		

保護者への説明等	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	ご家族からニーズを確認している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	初回時に説明を行い、モニタリング後の更新時は、変更したところの説明を行っている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	3	適宜相談にのっていると思われるが、定期的ではない。面談はしていないが、相談のつたり、助言をしている。	「何かあれば相談してください。」と送迎時等伝えていくことやお手紙の配布等で必要に応じて支援していくことを伝えていく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	7		運営やご家族と相談して検討していくことが必要と考える。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	1	保護者からの相談などあった場合、対応が可能な範囲で迅速に行っている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	奏便りやインスタグラムを定期的に発信している。最近はストーリーズも発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	送迎時に必ず今日の様子や体調、出来たことを伝えるようにしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		事業所の行事に地域住民を招待するといった事を行うことができていない。箱が狭い、利用者のごこと等、課題が多いと思う。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	1	事故緊急時対応マニュアルや土砂災害避難確保計画、大雨などのご利用ガイドラインを策定している。	災害や緊急時の対応のためのマニュアルの見直し等、改善すべきことがあり、現在改善中である。また、保護者へ実施した訓練やマニュアル見直し等をお手紙を配布して伝えていくことが必要である。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	2	改善中だが徐々に進んでいる。BCPは策定してあるが、見直しを行っていく必要がある。	BCPは見直しを進めていくことで、より良いものへと改善していく必要がある。行っていること発信することを増やしていることが必要である。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	契約後、サポートブックにより情報をご家族に記入してもらい確認している。また、服薬の変更等やその日の様子を確認するようにしている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	3	事故安全委員会が中心となって年間の安全計画を作成している。	研修や訓練を計画書にそって行い、その結果を3事業所で共有できていなかった。今後は、情報の共有をすすめていく必要がある。また、安全計画についてお手紙等で伝えていくことが必要である。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	5	避難訓練など実施した後、会報を発行している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	1	ヒヤリハットはミーティングで情報共有している。	委員会を通して3事業所でのヒヤリハットを共有することやヒヤリハットの報告が少ないので、重要性を周知し研修を行っていく。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	研修を行ったり、委員会を開催している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	個別支援計画書内に必要となる場合の対応として記入されている。	